

2. 事業評価個表

(単位：円)

番号	事業名	事業主体	基金事業実施場所			
1	学校給食センター修繕事業	牧之原市	牧之原市波津			
基金事業の概要	学校給食センターの修繕費。(バルク貯蔵タンク改修・ボイラー設備改修) 牧之原市は第2次牧之原市総合計画に基づき、安心・安全な学校給食の提供のため、電源立地地域対策交付金公共用施設維持基金を活用し、学校給食センター施設の改修と更新を進めます。					
基金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	基金事業に関する主要政策・施策 第2次牧之原市総合計画(平成27年度～令和4年度) 政策2 教育文化 施策1 学びの意欲を育む学校教育 方向性 学校施設の改修と更新・安心・安全な学校給食提供のため、学校給食センター施設の計画的な改修と更新を進めます。 目標：学校給食センターの年間稼働日数 196日※4月から翌年3月までの年間稼働日数					
事業開始年度	令和3年度			事業終了(予定)年度	令和5年度	
事業期間の設定理由						
基金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和6年度
	学校給食センター年間稼働日数 196日	4月から翌年3月までの学校給食センター稼働日数	成果実績	日		
			目標値	日		196
			達成度	%		
	評価年度の設定理由					
	令和5年度に給食センター設備改修事業が終了し、翌年の令和6年度に事業の成果を評価するため。					
	基金事業の定性的な成果及び評価等					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
基金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	施設の修繕箇所数	活動実績	箇所	1		
		活動見込	箇所	1		1
		達成度	%	100		
基金事業の総事業費等	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度	年度	備考
総事業費	4,818,000		5,672,368			
基金充当額	4,818,000		5,672,368			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	4,818,000		5,672,368			
基金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
バルク貯蔵タンク改修		随意契約		本目商事株式会社(牧之原市)		4,818,000
基金事業の担当課室	牧之原市教育文化部教育総務課					
基金事業の評価課室	牧之原市教育文化部教育総務課					

2. 事業評価個表

(単位：円)

番号	事業名	事業主体	基金事業実施場所					
2	相良総合センター修繕事業	牧之原市	牧之原市須々木					
基金事業の概要	相良総合センターの修繕費(・非常口扉等修繕・昇降機及び中央監視システム等修繕・音響設備更新・屋根及び軒裏修繕・舞台設備更新)文化施設の健全な運営と適切な維持管理のため、公共施設維持基金を活用し、文化施設の適正な管理と計画的な改修・整備を進めます。							
基金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	基金事業に関する主要政策・施策 第2次牧之原市総合計画(平成27年度～令和4年度) 政策2 教育文化 施策3 豊かさを育む芸術文化 方向性 効率的な施設管理のため長期的な整備計画を策定し、施設の役割りを明確化することで市民のニーズにあった利用しやすい施設運営を進めていきます。 目標 市民満足度：文化や芸術に触れる機会を提供(充実)する取組 現状37.8% 目標57.8%							
事業開始年度	令和2年度		事業終了(予定)年度	令和7年度				
事業期間の設定理由								
基金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和8年度		
	市民満足度 57.8%	市民意識調査 アンケートの中の 市民満足度の値	成果実績	%				
			目標値	%	57.8			
			達成度	%				
	評価年度の設定理由							
	令和7年度に総合センター修繕事業が終了し、翌年の令和8年度に事業の成果を評価するため。							
	基金事業の定性的な成果及び評価等							
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
基金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	施設の 修繕箇所数	活動実績	箇所	2	1			
		活動見込	箇所	2	1			1
		達成度	%	100	100			
基金事業の総事業費等	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	備考		
総事業費	3,414,400	4,097,500			83,763,076			
基金充当額	3,414,400	4,097,500			83,763,076			
うち文部科学省分								
うち経済産業省分	3,414,400	4,097,500			83,763,076			
基金事業の契約の概要								
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額		
ワイヤレスマイク音響設備改修		随意契約		ヤマハサウンドシステム株式会社 (東京都中央区日本橋)		4,097,500		
基金事業の担当課室	牧之原市教育文化部社会教育課							
基金事業の評価課室	牧之原市教育文化部社会教育課							

別紙

事業評価報告書

1. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	事業名	事業主体	開始・完了 年月日	総事業費	うち基金充当額	備考
1	小笠体育館雨漏り修繕事業	菊川市	R2. 6. 30~R2. 8. 28	2, 354, 089	2, 354, 089	総事業費3, 047, 000

(備考) 事業が2以上ある場合は、必要に応じ欄を設けること。

2. 事業評価個表

(単位：円)

番号	事業名	事業主体	基金事業実施場所			
1	小笠体育館雨漏り修繕事業	菊川市	菊川市下平川			
基金事業の概要		小笠体育館の屋根の雨漏り修繕費。 菊川市は第2次菊川市総合計画に基づき、スポーツ施設の安全・安心な利用のため、菊川市発電用施設周辺地域整備事業に係る公共用施設維持基金を活用し、スポーツ施設の管理と計画的な改修・整備を進めます。				
基金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		基金事業に関する主要政策・施策 第2次菊川市総合計画(2017~2025) 基本目標2 健康で元気に暮らせるまち 8 スポーツが盛んなまちづくり ②スポーツ活動の場を提供します ・スポーツ施設の安全・安心な利用のため、拠点となるスポーツ施設の管理と計画的な改修・整備を進めます。 目標 小笠体育館年間利用者数33,181人(令和3年度) ※4月~翌年3月までの延べ利用者数の累計				
事業開始年度		令和2年度			事業終了(予定)年度 令和2年度	
事業期間の設定理由						
基金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	成果実績	単位	評価年度 令和3年度
		小笠体育館年間利用者数 33,181人	4月~翌年3月までの延べ利用者数の累計	28,261	人	28,261
				33,181	人	33,181
				85.2	%	85.2
		評価年度の設定理由				
令和2年度に小笠体育館の屋根の雨漏り修繕事業が終了し、翌年の令和3年度に事業の成果を評価するため。 基金事業の定性的な成果及び評価等						
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						

基金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	年度	年度	年度	年度
	防水工の箇所数	活動実績	枚	30				
		活動見込	枚	30				
		達成度	%	100%				
基金事業の総事業費等	令和2年度	年度	年度	年度	年度	年度	備考	
総事業費	3,047,000							
基金充当額	2,354,089							
うち文部科学省分								
うち経済産業省分	2,354,089							
基金事業の契約の概要								
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額		
雨漏り修繕		指名競争入札		㈱小原組(菊川市)		3,047,000円		
基金事業の担当課室		菊川市教育文化部社会教育課						
基金事業の評価課室		菊川市企画財政部企画政策課						